

内閣府独立行政法人評価委員会
第1回宇宙航空研究開発機構分科会（JAXA 分科会）
議事要旨

1. 日時：平成24年9月27日（木） 8：00－9：45
2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室
3. 出席者
 - (1) 委員
白坂委員、関委員、薬師寺委員、山川委員
 - (2) 政府側
西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、國友宇宙戦略室参事官 他

4. 議事要旨

議事（1）開会あいさつ

会議の冒頭西本宇宙戦略室長から挨拶を行った。

議事（2）委員及び出席者の紹介及び（3）分科会長の互選及び分科会長代理の指名

事務局から委員の紹介の後、委員による互選により、薬師寺委員が分科会長に選任された。分科会長代理には、分科会長から山川委員が指名された。

議事（4）内閣府独立行政法人評価委員会宇宙航空研究開発機構分科会（JAXA 分科会）の設置について及び（5）新たな JAXA 中期目標の策定に向けた見直しの方向について

事務局から資料2「内閣府独立行政法人評価委員会宇宙航空研究開発機構分科会（JAXA 分科会）の設置について」、資料3「独立行政法人評価の概要」及び資料4「新たな JAXA 中期目標の策定に向けた見直しの方向（案）」について説明があった後、委員からは、以下のような主な質問等があった。資料4については、見直しの方向が了承された。（○：委員、●：事務局）

○日本の宇宙開発は、サプライサイドがプッシュして進められていたが、これからは、利用者の持っているニーズを踏まえて行う必要がある。

○来年度までに中期目標や中期計画を策定するとなると、どのようなスケジュールになるのか。

●来年の1月から2月上旬までに宇宙開発戦略本部で宇宙基本計画を決定し、これに基づき2月中に中期目標を策定する予定。3月中に JAXA が中期計画を作り、年度末までに認可を行う見込み。

議事（6）独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）及びその中期目標と中期計画についてのヒアリング

JAXA から資料5「宇宙航空研究開発機構（JAXA）の概要」及び資料6「独立行政法人宇宙航空研究開発機構の中期目標・中期計画について」について説明があった後、委員からは、以下のような主な質問等があった。（○：委員、●：JAXA）

- 宇宙開発委員会と JAXA が同じ省庁にあるのは、利益相反であると考えていたが、今回の体制の見直しで解消されたと思う。
- 産業として継続して利用するためには利用者が投資をしたいと考えるような衛星でないといけない。
- BOK（Body of Knowledge）などプロジェクトマネジメントの手法を活用し、多面的に JAXA 事業を評価し、取組みの不十分な部分はどこかを十分に検討する必要がある。
- 部品の安定供給は大きな課題。産業界におけるコンソーシアムの形成など検討する必要があるのではないか。
- 政府の体制は変わったけど、JAXA は変わっていない、ということの無いように JAXA が変わったということを実体化して、明確なメッセージを出すべき。
- 新しい中期目標が示される前なので、公表しているわけではないが、こういう期待が込められている、ということを踏まえ内部に戦略会議を設置し、議論している。

以上